岩内町地域公共交通活性化協議会　平成26年2月25日設置

概　要

岩内町における公共交通は、岩宇地域の拠点都市としての役割を担っており、公共交通に関しては岩内から札幌を結ぶ高速バスをはじめ、バス事業者2社により各市町村を結ぶ4路線、町内の円山地区を結ぶ1路線の合計5路線が運行している。また、ハイヤー・タクシー事業者も2社営業しており、公共交通の一翼を担っている。

こうしたなかで、人口減少や少子高齢化の加速度的な進展により、自家用車を主体とした生活スタイルが定着し、公共交通の需要の低迷が見込まれている。その一方で、高齢社会の進行に伴い、交通手段をもたない高齢者等、地域に最適な交通手段の確保や高齢者等が外出しやすい交通体系を構築するなど、地域公共交通ネットワークの確保が課題となっている。

本業務では、持続可能で地域にとって望ましい公共交通網をかたちにした「地域公共交通網形成計画」を策定するために各種調査を実施しているものである。

○地域公共交通の現況

・北海道中央バス㈱（3路線：高速いわない号、神恵内線、岩内円山線）
・ニセコバス㈱（2路線：雷電線、小沢線）

○地域公共交通の課題

・交通手段をもたない高齢者の増加
・5路線のうち町内路線は1路線のみで町内の主要施設と結ばれていない
・町内を面的につなぐ公共交通がない

○調査の主な内容

・住民アンケート調査　・岩内町地域公共交通網形成計画素案の作成
・交通事業者、関係団体等ヒアリング調査　・実証運行　・OD調査

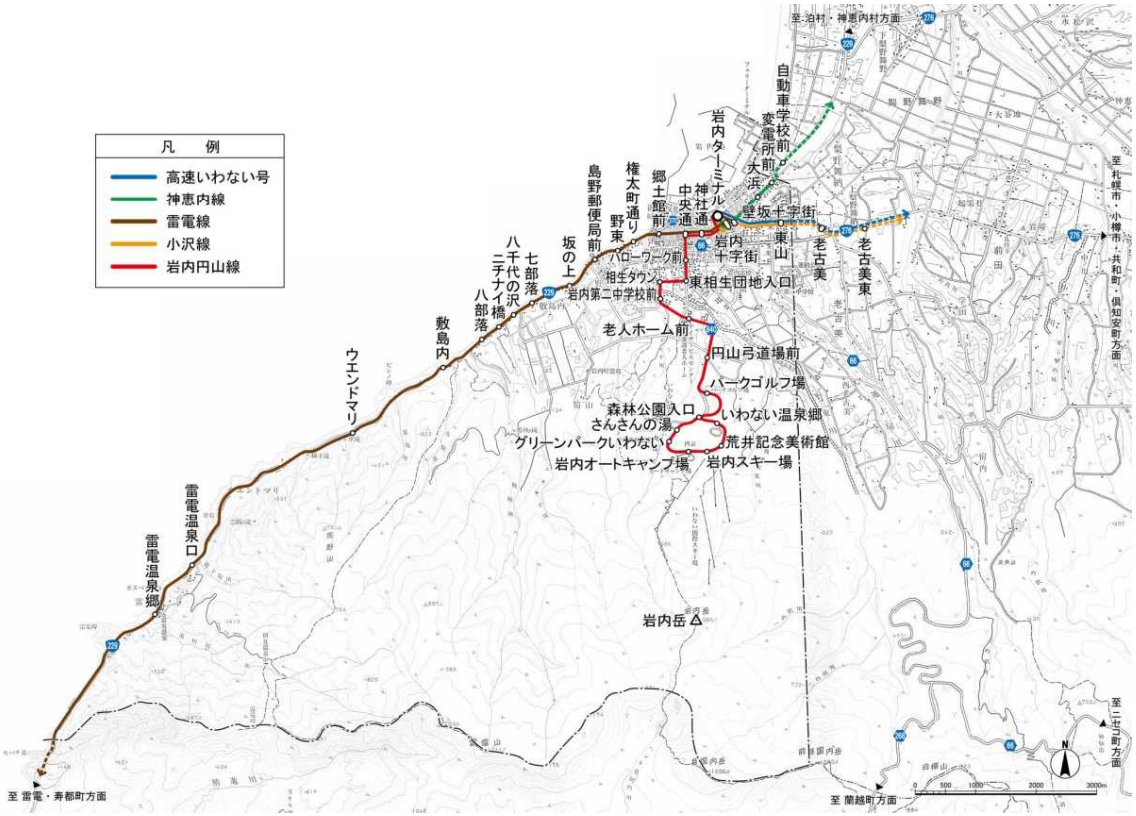
○地域公共交通活性化協議会開催状況

平成26年2月25日　第1回協議会～平成27年2月6日　第5回協議会を開催

平成27年5月22日　第6回協議会（平成27年度第1回）を開催
・主な協議事項：地域公共交通網形成計画素案作成業務の委託等について

平成27年8月24日　第7回協議会（平成27年度第2回）を開催
・主な協議事項：コミュニティバス実証運行について

平成27年11月20日　第8回協議会（平成27年度第3回）を開催
・主な協議事項：コミュニティバス実証運行結果等について



岩内町地域公共交通活性化協議会　計画策定に係る事業の取組状況

●事業の結果概要

・平成26年度に協議会で独自にまとめた報告書の結果を踏まえ、平成27年度には、コミュニティバス実証運行（1回目）、バス利用者にアンケート調査やOD調査を実施し、住民の移動需要や利用動向を把握した。

●事業実施の適切性

・当初予定していた各種調査を順調に終え、現在は、2回目となる冬季実証運行に向けて準備を進めており、当該事業は計画どおり適切に実施されている。

●地域公共交通網形成計画等の計画策定に向けた方針

・平成26年度に協議会で独自に作成した「岩内町地域公共交通の検討調査業務報告書」においてまとめた現況や町民ニーズ等を踏まえたうえで、コミュニティバスによる実証運行調査及び利用者属性や利用目的などのOD調査、調査期間中の乗降客数等を整理し、利用実態を把握していく。
・コミュニティバスによる実証運行調査は、1回目の秋季実証運行結果を踏まえ、2回目となる冬季実証運行を今後実施し、車両だけでなく停留所の設置について更なる課題・問題点の洗いだしを行う。
また、運行中は車内にアンケート用紙を設置し、常時利用者から意見をいただく機会を設け、より多くのニーズ等把握していく。
・実証運行による課題・問題点、アンケートによる利用者からのいただいた意見をもとに基本となる方針の整理を行い協議会にて検討し、将来的に岩内町における持続可能な地域公共交通ネットワークの構築に向けて地域公共交通網形成計画の平成27年度中策定を目指す。

●地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果

・地域公共交通網形成計画の策定に当たっては調査で得られたデータや結果、方向性を尊重するほか、まちづくりとの連携も考慮しつつ取り組んでいくことが必要である。
・また、実効性のある持続可能な形成計画となるよう、関係者と丁寧な調整を心がけることが肝要である。